



YOKOHAMA BUSINESS SCHOOL

大学院国際社会科学府
経営学専攻（博士課程前期）

横浜ビジネススクール
社会人専修コース

2023年度 入試日程

[第1次選抜]

学力検査 / 小論文

2022年11月12日(土)

[第2次選抜]

口述試験

2022年11月26日(土)



横浜ビジネススクールの 理念

21世紀の変動し続けるビジネス環境の下で、現代の社会人には、経営に関する高度な専門知識を習得するとともに、専門知識を実際の経営戦略や業務課題に有機的に結びつけ役立てていく統合的なマネジメント能力が求められています。横浜ビジネススクールは、本学の基本理念である「実践性」、「先進性」、「開放性」、「国際性」に基づいて専門知識の深化と統合を追求した、社会人のための高度で実践的な経営専門教育を目指します。

横浜ビジネススクールの 特徴

本スクールでは、上記の理念を実現するために次のような特徴を持っています。

徹底した少人数による教育・研究

受講生と教員間のハイタッチなコミュニケーションによる相互作用から今後の企業や社会等のあり方を考えるための新たな知を生み出します。各演習テーマの定員は6名とし、少人数でそれぞれの個性を大切に知るインターフェイスを実現します。

演習テーマの設定

現代社会に求められる2つの演習テーマを毎年設定します。社会的なニーズと教員のシーズを組み合わせ毎年新たな演習テーマを設定し、テーマごとに学生募集を行います。受験生は関心を持ついずれかの演習テーマを選択して受験します。

演習の重視

演習テーマの下で専門領域の異なる2人の教員が2年間にわたって研究指導を行う「ワークショップ演習」「プロジェクト演習」を実施します。演習では、参加者同士がディスカッションしながら各自の研究を進め、その成果は「特定課題論文」としてまとめられ、プロジェクト報告会にて発表されます。

就学しやすい環境

平日の夜(18時50分~21時まで)は、オンライン授業を中心とし、土曜日(9時50分~18時まで)は、緑豊かで設備の整った常盤台キャンパスを利用することで、社会人に最適な教育・研究環境を提供します。
(新型コロナウイルス感染症の影響等により、対応の必要がある場合は、遠隔での授業実施となる場合があります。)

高いクオリティと経済性

国立大学法人ならではの入学金、授業料の水準は、経済的に大きな魅力となっています。(入学金:282,000円、授業料535,800円)また、2016年から「職業実践力育成プログラム」に設定されたことにより、専門実践教育訓練講座として指定されました。



横浜ビジネススクールは「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣に認定されています。

演習

A

イノベーションの普及戦略

真鍋 誠司 & 横澤 公道

本演習では、イノベーションを「社会的・経営的・経済的成果をもたらす革新」と考えます。演習で扱うトピックは、例えば、組織の革新、行動の変容、全社的なカイゼンの定着、知識・技術・製品・サービスの社会実装、イノベーションの社会受容性といった、イノベーションの組織内外における戦略的普及です。特に、演習生の考えるイノベーションに固有な課題について、実践的な視点から考察していきます。同時に、共通する論点(パターン)に関しては、理論的・学術的に多様な観点から演習全体で検討します。このプロセスを通じて、個々の抱える課題の実践的解決への糸口を見つけ、イノベーション(経営学)に関する理論的思考及び知識を身につけることをこの演習の狙いとしします。

演習

B

日本式オペレーションの再考察

倉田 久 & 鈴木 定省

1980年代には「Japan as No.1」と称されていた日本企業やそのビジネスモデルは、IoT、DX、industry4.0など産業構造が大きく変化する中、非常に苦戦を強いられています。現場レベルでの個々のオペレーション性能、つまり「現場力」は依然として非常に優れていると言われる中、それが必ずしも企業全体の収益性に結びついていない傾向があるのです。しかしながら、かつて世界を席卷していた日本企業には最高水準のオペレーションに関する知識や経験、ノウハウが蓄積されているはずですが。演習Bでは、日本式オペレーションの強み・弱みを科学的アプローチを駆使しながら見直し、日本企業活性化の方向性を探究していきます。

最終試験に相当する
プロジェクト報告会
の様相

(修了生が多数参加)



講義科目

(2021 ~ 2022年度実績)

リサーチ・メソッド

エコノメトリクス

戦略マネジメント

経営組織

技術マネジメント

マーケティング・マネジメント

ヒューマンリソース・マネジメント

グローバル・マネジメント

管理会計

財務会計

サステナビリティ・マネジメント

アカウンティング

企業財務

確率・統計

組織変革

マネジメントと社会

オペレーションズ・マネジメント

市場分析

ビジネス・シミュレーション

リスク管理

国際会計

経営史

特殊講義(M & A)

特殊講義(標準化とビジネス)

演習

在校生の声

久保田 博之 (2021年入学)

秦 誠 (2021年入学)



ビジネススクールに進学した理由は？

久保田さん

今後のキャリアを考えた時、これまでとは違った視点が必要になってくると考えました。その中で、ビジネスに携わる限り経営の視点が重要になると考え、進学を決めました。

秦さん

人生100年時代と言われる中、一度自身のスキルセットを棚卸し、これまで培ったビジネス経験に学術の視点を加え、思考の幅を広げたいと思ったからです。

YBSを選んだ決め手は？

久保田さん

研究テーマを事前に選択可能な点です。また、学生一人当たりの教員数が多いため、手厚いサポートを得られると考えました。実際、充実したフィードバックをいただけます。

秦さん

ズバリ仕事で抱えている課題と演習テーマが合致したことが一番大きな決め手です。加え、少人数であること、通学に無理がないことも決定打の一つです。

どのように勉強に取り組んでいますか？

久保田さん

入学前はついていけないか不安でしたが、講師や仲間が積極的に助けてくれるため前向きに学習に取り組んでいます。仕事との両立は大変ですが、時間を効率的に使うようにして学習に励んでいます。

秦さん

これまであまり触れてこなかった科目を中心に履修しています。履修科目が多い期では、纏まった時間の確保が難しいため、課題を小さく分解して早め早めに取り組むようにしています。

演習の雰囲気はどのようにですか？

久保田さん

少人数のため、すぐに打ち解けることが出来ました。また、同じメンバーと毎週議論するため、日を追うごとに議論の深まりを実感出来ます。

秦さん

業種、年齢、国籍も違うメンバーとの演習では、真剣な場でありながらも、互いに補完しあい楽しく進めています。専門の異なる二人の先生が融合することで、さらに実りのある場となっています。

役に立ったところは？

久保田さん

エンジニアのため経営視点で業務を見ることが出来ませんでした。講義や演習を通して学んだ知識により、経営の観点から仕事内容を分析することが出来るようになりました。

秦さん

未知科目の履修や演習を通じ、少しずつ思考の幅が広がってきたのを実感しています。そしてそれが実際の仕事の面でも生きています。

どんな仲間たちと学んでいますか？

久保田さん

全員所属している組織の課題解決を問題意識として持っており、高い学習意欲を持った仲間が集まっています。各々の専門を生かし、互いを高め合いながら学習していると感じます。

秦さん

それぞれ入学の目的は違うものの、共通して言えるのは、積極的に、ポジティブに、何事にも取り組む姿勢を持ったメンバー達で、毎回良い刺激を受けています。

正直言って、入学してよかったですか？

久保田さん

講義を受けるたびに新しい発見があり、非常に充実した学生生活を送れているため、入学して良かったです。新しい一步を踏み出すには勇気がいりましたが、今はその一步を踏み出せて本当に良かったと思います。

秦さん

仕事と学業の両立は簡単ではないですが、思い切って受験し、入学できて本当に良かったと思っています。良い仲間とも巡り合うことができ、毎日がとても充実しています。



お問い合わせは下記までご連絡ください。

横浜国立大学 社会科学系事務部 大学院学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-4 横浜国立大学経営学部 1号館 1階事務室内

Tel: 045-339-3684 E-mail: int.gakumu-all@ynu.ac.jp <https://www.b.ynu.ac.jp/ybs/index.html>

YNU
横浜国立大学

